

福 議 委 号
平成 2 4 年 5 月 2 9 日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

経済福祉常任委員会
委員長 木 村 隆

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、平成 2 4 年 3 月 9 日平成 2 3 年度福島町議会定例会 3 月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 1 4 0 条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

調査事件	2 (1 2) 福島町の地域ブランド化システム作りについて
調査期間	平成 2 4 年 5 月 2 1 日 (1 日間)
出席委員	委員長 木 村 隆、副委員長 佐 藤 卓 也 委員 平 沼 昌 平、委員 加 藤 雅 行 委員 平 野 隆 雄
欠席委員	委員 花 田 勇
委員外議員	なし
職務のため出席した議員	議長 溝 部 幸 基
出席説明員	副 町 長 竹下 泰弘、水産商工課長 近藤 勝弘 水産商工課長補佐 川合 力也、水産商工課長補佐 石岡 大志
議会事務局職員	議会事務局長 石堂 一志、議会グループ次長 前田 勝広 議会グループ主事 沢田 元気

[委員会意見]

調査事件 2（12）福島町の地域ブランド化システム作りについて

（平成 24 年 5 月 21 日調査）

本調査は、町のブランド化の取り組み状況の確認及び今後の地域ブランド化に向けた考え方を調査したものであり、その調査結果の内容は次のとおりである。

【意見交換の結果】

町の地域ブランド化に対する基本的な考え方は、特産品開発に意欲のある事業者への支援を中心としたものとなっている。その主なものは、まぐろ、キタムラサキウニ塩水パック、スルメ、千軒そば、黒米である。しかし、一方では各生産者が独自に誇れる製品づくりをしている状況もある。また、最近では地域ブランド化を戦略的に進めている自治体もあり、「地域ブランド化推進計画」を策定し、ブランド化に対する基本理念及び基本方針を定め、地場産品等を評価し、流通・販売に関する支援活動を積極的に行うことで生産者をはじめ加工業者等が意欲的に事業展開できるように協力体制の強化を図っている事例も見受けられる。このような状況からも、従来の地場産業開発研究会を中心とした特産品の開発・ブランド化の取り組みを見直す時期にあるものと考ええる。

以上から、庁内体制も含め既存組織の活用・再編を検討のうえ、地域ブランド化をこれまで以上に機動的にスピード感を持って進めるための体制整備を早急に構築し、町の魅力向上と地域活性化に繋げる取り組みに強く期待するものである。